

ALINCO

PS1189S
FNFJ-NI

特定小電力トランシーバー
(総務省技術基準適合品)

DJ-PX32

(S:シルバー)
(B:ブラック)

簡易取扱説明書

右の二次元コードを読み取ることで詳細取扱説明書をダウンロードすることができます。
https://alinco-denshi.com/item/uploads/DJ-PX32_manual/

重要 本機をご利用の際は別売のイヤホンマイクが必要となります。

アルインコの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は免許、資格不要の特定小電力無線機器です。日本国内なら誰でも用途を問わず、お使いいただけます。使用方法のほか安全上の注意やアフターサービスについても記載していますので、この取扱説明書は必ず最後までお読みのうえ、保証書など付属書類とあわせて保管してください。また本機の機能の設定をされる管理者の方は詳細取扱説明書もあわせてお読みください。上の二次元コードからアクセスできます。

This product is intended for use only in Japan.

アルインコ株式会社 電子事業部

大阪本社 / 電子サービスセンター：
〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 4-4-9 淀屋橋ダイビル 13F / TEL 06-7636-2222

無線・電源機器のアフターサービスに関する情報はアルインコ電子事業部HP <https://alinco-denshi.com/>
「サポート情報」をご覧ください。

Copyright Alinco, Inc.

使用上のご注意

● ご使用環境・条件

- 本機を人命救助などの目的で使用して、万一、故障、誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。
- 航空機内、空港敷地内、公共交通機関内、医療・高齢者施設など無線機器の使用が制限される場所では事前に管理者の許可を得てください。
- 直射日光の当たる場所や空調機、火の近くなど、温度が高くなる場所には置かないでください。破裂、火災、故障、やけどの原因になります。真冬でも閉め切った車内や窓際では、日光が当たると本機の表面は電池の破裂につながる温度まで上昇します。
- 雷が鳴りだしたら屋外での使用時は直ちに屋内、車内など安全な場所に避難し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中に本機を手に持って操作しないでください。運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。
- 付属品及び弊社指定のオプション品以外のものを接続して使用しないでください。故障の原因になります。
- 本機の定格温度は必ず守ってください。定格外の温度範囲で使用した場合、火災、発熱、故障の原因になります。
- ベットや小さいお子様の手が届かない場所で使用、保管してください。感電やけがの原因になります。
- 電化製品の近くで使うと電波障害を与えたり受けたりすることがあります。原因となる機器から離れてお使いください。

● 電波法上のご注意

- ◎ 本機は電波法に基づいて技術適合証明(工事設計認証)を受けた製品で右記の「技術マーク」が印字されています。分解しないでください。改造して使うと罰せられます。
- ◎ 本機に貼付されたラベル類は重要です。次のことにご注意ください。
 - 機種名、数字が書かれたラベル類は一切絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、張り替えたりしないでください。
 - ラベル類が隠れるように他のシールやステッカーが貼り付けられていたら、修理の際に弊社サービスセンターで破棄させていただきます。ラベル類の印字が薄れてきたらお買い上げいただいた販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。
 - ラベル類が意図的に手を加えてあると判断した場合、修理をお断りすることがございます。不法無線局開設の助助に該当するためですのでご了承ください。
- ◎ 他人の通信を妨害したり、知りえた内容を通信者の許可なく第三者に伝えたり、自身で利用したり、メディアに公表したりすると罰せられます。
- ◎ 使用できるのは日本国内に限られています。
- ◎ 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで本機を使用しないでください。電磁妨害により機器が誤作動すると、人命に関わります。

● トランシーバー本体の取扱いについて

- 本機は調整済みです。ユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。
- 引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。爆発、火災、感電、故障の原因となります。本機は防爆仕様ではありません。
- 水などでぬれやすい場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。本機は防水仕様ではありません。

- 長期間ご使用にならないときは、乾電池またはニッケル水素充電電池 (EBP-179) を本機から取り外してください。充電スタンドをご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。
- 大きい音で長時間使用しないでください。耳に聴覚障害を与える原因になります。
- 本機を落としたり、壁に当てたりしないでください。無理な力が加わり破損し発火、発熱、故障の原因になります。
- スポンなどのポケットに入れたまま椅子などに座らないでください。無理な力が加わり、けが、故障の原因になります。
- 内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

■ 充電スタンドの取扱いについて

- 充電スタンドに水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災、発熱、感電、故障の原因となります。
- 指定以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- 定格外の温度範囲で使用しないでください。火災、発熱、故障の原因になります。
- 充電スタンドの近くに可燃物を置かないでください。火災、故障の原因になります。

■ 通話距離の目安

- 障害物のない平地：DJ-PX32同士で300m程度
- 市街地：150m程度

注意

- 建物内の縦階層間の通信はフロアが障害物になるため、直進では数十メートルの近距離であっても通信できないことがあります。このような場合は中継器を設置することで通話エリアを広げることができます。
- 人体を含む障害物やアンテナの向き、歩くなど移動による影響を受けると、通信距離は半分程度まで短くなる場合があります。
- トンネルのような閉鎖空間ではUHF電波伝播の特性により近距離でも通信できないことがあります。

■ 保守・点検

- 本体や充電器のケースは開けないでください。けが、感電、故障の原因となります。分解しないと交換できない部品は販売できません。内部の点検、修理はお買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。
- 汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。パソコンやデジカメのようなAV機器を清掃するために市販されているクリーニング用具が最適です。
- ベンジン、シンナー、洗剤などの溶剤を使うと外装が変質したり、ショートを誘発して故障の原因となるため絶対に使わないでください。
- イヤホンなどのケーブルは、軽く濡らした布で拭いてください。汗はケーブルを劣化させる原因になります。

■ 電磁ノイズ

インバーター回路を内蔵している電子機器及びハイブリッドカー、電気自動車の車内や周辺では電磁ノイズを受けて、正常に動作しないことがあります。

- ◎ インバーターを搭載する代表的な機器
- LED照明機器
- 電磁調理器
- 給湯器
- 自動車の電子機器
- 太陽光発電装置

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

■ 3分制限(3分以上は連続で送信できません)

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。チャンネルを独占させない機能です。

注意 3分の通信時間制限により自動的に通信が停止したあとは、約2秒間たたないと送信できません。

■ キャリアセンス(受信中は送信できません)

一定の強さ以上の信号を受信しているときはPTTキーを押しても送信できません。受信中にPTTキーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。混信や妨害を与えないための機能です。

注意 「ピープ音+音声ガイダンス」をオフに設定している場合、アラーム音は鳴りません。

アフターサービスについて

- ◎ 保証と保証書修理やメンテナンスなど、保証の詳細は販売店とおお客様の間の契約が優先されますのでご購入時によくご確認ください。弊社の製品保証の内容は弊社発行の保証書に記載されています。保証書には購入店名、購入日の記入(または専用ステッカー貼付けなど)と、記載の製造番号に間違いがないかを確かめのうえ、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。
- ◎ 保証期間が過ぎたらお買い上げいただいた販売店または弊社相談窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様の要望により有償で修理いたします。アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社相談窓口へご相談ください。

◎ 製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし、不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修用部品の保有期間は、生産終了後5年です。

- ◎ 注意事項
- 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、技適上の理由から修理をお断りします。
- 修理見積や保険用の証明書の発行は、一部有償です。
- 本機には明確に定められた製品寿命はありません。
- 樹脂成型時に細いラインが入ることがありますが、異常ではありません。
- 印字について美観上の問題がない範囲でわずかなムラがあります。
- 使用条件によって端子部が変色することがありますが、異常ではありません。
- 静電気が溜まりやすい場所や服装で別売のイヤホンを着装するとき、耳に静電気ショックを感じる場合があります。ドアノブなどに触れて感じることもあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。
- 付属品、および弊社指定のオプション品以外のアクセサリーを接続して使用するとか故障や動作不良の原因となることがあります。他社製品をお使いになっているの不具合は保証期間に関わらず製品保証の対象外です。
- 本機を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用しないでください。事前の個別契約がない限り、誤作動、不具合や損害が生じてても一切の責任は負いかねます。
- 製品の保証の詳細は同梱の保証書に記載されています。別売のアクセサリーと一緒に求められることも、保証書が同梱されていないアクセサリーは製品保証の対象に含まれません。

付属品と取付け方

付属品をご確認ください。

☐ ベルトクリップ+ネジ 1本(EBC-28、本体装着済み)

☐ 簡易取扱説明書 1枚(本紙)

☐ 保証書

注意

保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

■ ベルトクリップの取り外し

本機のベルトクリップは出荷状態で取り付け済みです。ベルトクリップを取り外す場合はネジを取り外します。

注意

- ネジは必ず専用品をご使用ください。不正規品を使用しての故障につきましては保証の対象外となります。また、定期的にネジにゆるみがないか点検してください。
- ベルトクリップは消耗品です。スベア品として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。ベルトクリップ：EBC-28

■ ネックストラップ (別売) の取り付け

本機背面左上部にあるストラップ用通し穴に取り付けます。

注意

- ネックストラップは、本機専用です。他のものに使用しての破損は補償できません。ネックストラップは消耗品です。オプションとして販売していますので販売店にご相談ください。ネックストラップ：BB0014G
- 本機を使用する際はストラップを突起物に引っかけたり、シュレッターのような機器に巻き込まれないよう注意してください。怪我の原因となります。
- 指定以外のストラップを使用しての事故は製品保証の対象外です。

電池の入れ方とご注意

- ①電池カバーを取り外す。ロックカバーを矢印の方向①にスライドさせ、電池カバーを下方向②にスライドさせて取り外します。
- ②電池を装着する。市販の単三乾電池または、ニッケル水素充電電池 (EBP-179) を内側の「+」「-」の表示にしたがって装着します。
- ③電池カバーを取り付ける。電池カバーの▶マークと本体の◀マークを合わせて上側①にスライドさせ、ロックカバーを矢印の方向②にスライドさせます。きちんと閉まっていることを確認してください。

注意

- 電池の極性[+/-]を間違えないように注意してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池またはニッケル水素充電電池を本機から取り出してください。
- 乾電池を使用する場合はアルカリ乾電池をお使いください。

充電池および充電器 (別売)

●ニッケル水素充電電池	：EBP-179(1.2V 1900mAh)
●シングル充電器セット	：EDC-185A
●ツイン連結充電器セット	：EDC-186A
●ツイン連結充電スタンド	：EDC-186R
●12口充電スタンド	：EDC-303
●連結充電用ACアダプター	：EDC-162

充電池は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。充電器を使用して空のニッケル水素充電電池を充電するのに要する時間は約6時間です。充電器の動作保証範囲は、0～+40℃です。

注意

- 市販の単三形充電池はEBP-179と形状が異なるためご使用になれません。弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。
- 充電するときは本機の電源を切ってください。電源を入れたままだと満充電にならないことがあります。
- 本機および充電器の充電端子はときどき乾いた布で掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。
- 本機をいずれかのポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが、別のポケットに挿入すると緑色ランプが点灯する、あるいはその逆の動作をすることがあります。充電開始・完了を決定する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。
- 充電池を持ち運ぶ場合は、端子がショートしないようにビニール袋に入れるなど注意してください。端子がショートすると、大電流が流れてやけどや火災を引き起こすおそれがあります。
- ニッケル水素充電池を保存するときは、満充電した状態で高温多湿を避けて保存してください。ニッケル水素充電池を継ぎ足し充電したり、6ヶ月以上ご使用にならなかったときは、一時的に性能が低下し使用時間が短くなる場合があります。(メモリー効果) その場合は下記の方法でニッケル水素充電池のリフレッシュをおこなってください。
 - ①本機にニッケル水素充電池を装着し、充電器に挿入します。(またはニッケル水素充電池単体を充電器に挿入します。)
 - ②充電器のリフレッシュボタンを押すと、緑色ランプが点滅して放電を開始します。
 - ③放電が完了すると、赤色ランプが点灯して自動的に充電を開始します。
 - ④充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。
 - ⑤上記の要領で、充放電を3回程度繰り返します。リフレッシュの効果が無いときは電池が消耗しています。正しく使っても電池は消耗するので、3年をめぐにお買い換えをお勧めしています。

■ シングル充電器 (EDC-185A) の使用方法

- ①本機にニッケル水素充電池(EBP-179)を装着します。
- ②ACアダプターのプラグを充電器背面のジャックに接続します。
- ③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
- ④本機を充電器のポケットに挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。充電中は本機の電源を切って下さい。
- ⑤充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。
- ⑥ニッケル水素充電池単品で充電することもできます。極性に注意して充電スタンドに装着してください。

ACアダプター

※本機の電源は必ず切ってください。

リフレッシュボタン

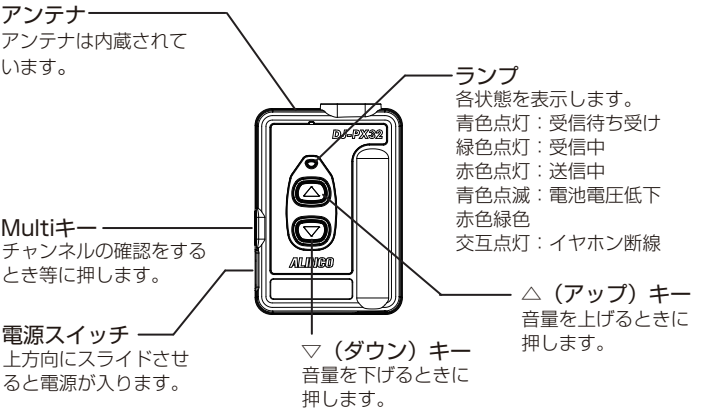
■ ツイン連結充電器 (EDC-186A/R) の使用方法

連結充電するときは、必ず連結用ACアダプター(EDC-162)が必要です。最大で5台連結し、本機を最大10台同時に充電することができます。

- ①充電スタンド同士を連結します。ロックレバーが固定されていることを確認してください。
- ②充電スタンド裏面のコネクターを接続します。
- ③ACアダプターのコネクターを端の充電スタンドのコネクタに接続します。
- ④ACアダプターを家庭内コンセントAC100Vに接続します。
- ⑤本機を充電器のポケットに挿入します。
- ⑥充電を完了すると緑色ランプが点灯します。

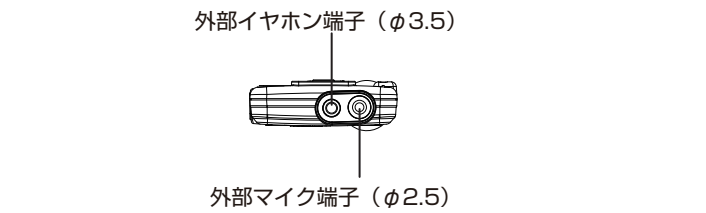
各部の名前とはたらき

■ 前面



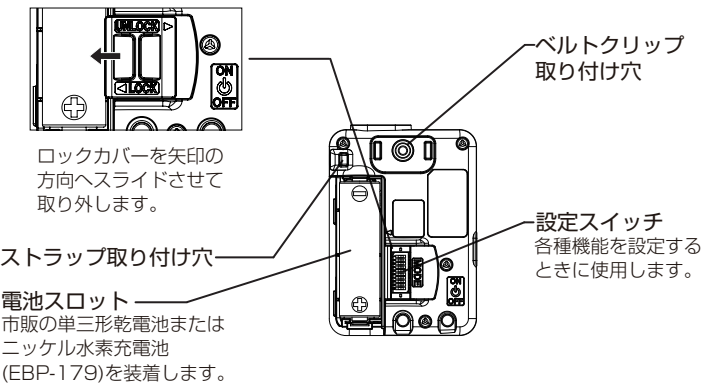
注意 ランプの色は部品の個体差から異なって見えることがあります。異常ではありません。

■ 上面



注意 イヤホンのケーブルに無理な力が加わって断線しないよう、取扱いにはご注意ください。

■ 背面



注意 ベルトクリップを使用する際、かがんだり座ったりしたときにブラグ部に無理な力が加わらない位置に本機を装着してください。

項目	初期値	設定スイッチ
1 交直通話/中継通話	交直通話	上側
2 グループトーク	オフ	
3 PTTホールド（送信保持）	オフ	
4 VOX（音声検知送信）	オフ	
5 ビープ音+音声ガイダンス	オン	
6 コンパンダー（雑音低減）	オフ	下側
7 エンドビー（送信終了音）	オフ	
8 コールバック（音声モニター）	オフ	
9 バッテリーセーブ	オン	
10 電池選択	アルカリ乾電池	

※設定スイッチ5、9は下側のときに動作（オン）します。
※各機能説明は詳細取扱説明書をご確認ください。

基本操作

本書では基本的な設定操作のみを記載しています。詳しいカスタマイズ方法は詳細取扱説明書をご確認ください。

●音声ガイダンス

本機はチャンネルやグループなどの設定内容、及び各状態を音声ガイダンスでお知らせします。本書では音声ガイダンスが動作することを「鳴ります」と表記しています。

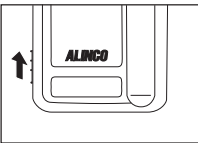
注意 ビープ音+音声ガイダンスをオフに設定している場合、音声ガイダンスやビープ音は鳴らなくなります。

●キー操作

「キーを押す」とは、短く押すことを指します。
「キーを長押し」とは、約2秒間押し続けることを指します。

●電源を入れる

電源スイッチを上方向にスライドさせます。
ランプが青色点灯し、チャンネルとグループが鳴ります。電源を切るときは電源スイッチを下方向にスライドします。



メモ 電源が入っているときにMultiキーを押すと、チャンネルとグループが鳴り、設定内容を確認できます。

●イヤホン断線検知

電源を入れた直後にランプが赤色と緑色に交互点灯していたらイヤホン断線検知の異常をお知らせしています。プラグが緩んでいないか接続状態を確認し、直らないときは新しいものにお取替えください。

●音量を調整する

△/マキーを押すと「ピッ」という音が鳴り音量が切り替わります。キーを押し続けると連続して音量が切り替わります。△/マキーを同時に押して離すとビープ音が鳴り音量調節の目安となります。適切な音量に調整してください。

注意 イヤホンを使用するときはあらかじめ音量を下げてください。音量を大きくし過ぎると聴力障害の原因となるおそれがありますので、小さい音から徐々にあげて調整してください。

●送信する

外部マイクのPTTキーを押すと送信を開始します。話している間は押し続けて話し終わったら離して受信待受けに戻ります。送信中はランプが赤色点灯します。

注意 一定の強さ以上の信号を受信しているときはキャリアセンスがはたらき、「ププ」警告音が鳴り送信できません。受信信号がなくなり、ランプが緑色から青色に変わったら送信できます。5番スイッチが上側の場合は警告音は鳴りません。

メモ 中継通話も同様に外部マイクのPTTキーを押し続けます。「ビビ」音が鳴って中継器にアクセスします。そのまま外部マイクのPTTキーを押しながらマイクに向かって話します。（別途中継器が必要です）

●呼出音（コールトーン）

送信中に△/マキーを押すと呼出音（コールトーン）が送出され、相手呼び出すことができます。5番スイッチが上側の場合は呼出音は鳴りません。

●受信する

電波を受信するとランプが緑色点灯し、イヤホンから相手の声が聞こえます。

メモ 本製品にはテールノイズキャンセラー機能が搭載されています。受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。本機能を搭載した弊社機器間の通話においてのみ有効です。

●チャンネル設定

交直通話20チャンネル、中継通話27チャンネルの中から使用するチャンネルを選択できます。交互または中継であるかは、1番スイッチの設定で選択できます。（中継通話の際は別途中継器が必要です）
△キーを押しながら電源を入れます。ランプが点灯し「チャンネルを選択してください」が鳴ったら△/マキーを押してチャンネルを選択します。設定したいチャンネル番号が鳴ったらそのまま5秒間放置するか、Multiキーもしくは外部マイクのPTTキーを押して確定します。

メモ 1番スイッチが下側のとき、後述のリセット（初期化）すると、交互チャンネルL01になります。1番スイッチが上側のとき、後述のリセット（初期化）すると、中継チャンネルL10になります。

●グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときはグループトーク機能を設定します。同じグループのトランシーバーはすべて同じグループ番号に設定してください。グループ番号は50通りの中から一つを選択してください。

●グループ番号の設定

2番スイッチを上側にしてマキーを押しながら電源を入れます。ランプが点灯し「グループを選択してください」が鳴ったら△/マキーを押してグループを選択します。設定したいグループ番号が鳴ったらそのまま5秒間放置するか、外部マイクのPTTキーを押して確定します。

メモ グループトークをオンした際の初期値は1番に設定されており一般的によく使用されます。混信を避けるために1番以外の設定をお勧めします。

●減電池お知らせ

バッテリーの電圧が低下するとランプが青色点滅してお知らせします。

●リセット（初期化）

△とマとMultiキーを同時に押ししながら電源を入ると「初期化しました」と鳴ります。すべての設定内容は初期化され工場出荷状態に戻ります。

●拡張機能

各機能説明は詳細取扱説明書をご確認ください。

お知らせ機能

Multiキーを押して、同じチャンネルに設定された相手に短い送信を行い、お知らせする機能です。
お知らせ内容（ビープ音およびガイダンス）は受信側で設定します。ビープ音およびガイダンスの内容および設定変更方法は詳細取扱説明書をご確認ください。
※送信側、受信側共にMultiキーの設定を「お知らせ機能」にする必要があります。
※お知らせ機能が実装されている機種間（DJ-PX32、DJ-PX5G、DJ-PX7G等）で使用できます。お知らせ機能が実装されていない機種（DJ-PX31等）とは使用できません。

●設定方法

- Multiキーを押しながら電源を入れます。
- 「セットモード」と鳴り、セットモードに入ります。Multiキーを押す毎にセットモードの項目を切り替えます。「18 Multiキー」と鳴るまでMultiキーを押します。
- △/マキーを押す毎に設定値を変更します。「お知らせ機能」と鳴るまで△キーを押します。
- ビープ音およびガイダンスを変更したい場合は「15 お知らせパターン」と鳴るまでMultiキーを押します。その後△/マキーを押し、鳴らしたいビープ音およびガイダンスを選択します。
- 電源を切り、再度電源を入れます。

チャンネルとグループ番号の自動設定（ACSHモード）

既に使用しているトランシーバーのチャンネルとグループ番号をスキャンして検出し、本機に同じものを自動設定する機能です。
キー操作によるチャンネルとグループ番号の設定作業が省略できます。本機は交直通話及び中継通話においてご使用いただけます。複数台を同時に設定することができます。

●設定方法

- ACSHモードで自動設定するトランシーバー（本機）と、既にご使用中の設定元（設定済み）トランシーバーを準備します。設定元トランシーバーはあらかじめ電源を入れておきます。
- 本機の△/マキーを同時押ししながら電源を入れます。「アクシュモードです」と鳴るまで△/マキーを同時押しし続けます。
- 「設定元となるトランシーバーを送信してください」と鳴り電波の検出を開始します。既にご使用中の設定元トランシーバーを送信状態にします。このまましばらくお待ちください。数秒から最長で2分程度要することがあります。
- 電波を検知すると「ビビ」音が鳴りランプが青色点滅します。
- 自動設定が完了すると「自動設定が完了しました」と鳴りランプが緑色点滅します。
- お知らせ後「ププ」音が鳴り自動的に電源が切れ、再度自動的に電源が入ります。正しく通話できることを確認してください。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
ランプが点かない。	ニッケル水素充電電池を充電してください。	
	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
音が出ない。	音量が低すぎる。	適切な音量にしてください。
受信できない。	相手とチャンネルが違う。	同じチャンネルにしてください。
	相手とグループ番号が違う。	同じグループ番号にしてください。
	相手と距離が離れすぎている。	通信距離を目安に送信してください。
送信できない。	他の電波を受信している。	受信が終わってから送信してください。
	3分通信制限を超過している。	PTTキーを放して2秒経過後に送信してください。
充電できない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを拭き取ってください。
	充電電池が劣化している。	新しい充電電池に交換してください。
	充電電池が専用品でない。	専用充電電池EBP-179を使用してください。

※充電電池の残りが少ないとまれに誤作動することがあります。充電してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EBC-28	ベルトクリップ	EME-46A	ヘッドセット
EBP-179	ニッケル水素充電電池（1.2V 1900mAh）	EME-57A	イヤホンマイク（カナル型 耳かけ型）
EDC-185A	シングル充電器セット	EME-522A	イヤホンマイク（オープンエア型）
EDC-186A	ツイン連結充電器セット	EME-652CA	イヤホンマイク（カナル型）
EDC-186R	ツイン連結充電スタンド	EME-652MA	イヤホンマイク（耳かけ型）
EDC-303	12口充電スタンド	EME-762MA	イヤホンマイク（オープンエア型）
EDC-139	ACアダプター（EDC-185A/186A付属品のスベア）		
EDC-162	連結充電用ACアダプター	EME-762PA	イヤホンマイク（オープンエア型）
EME-21A	イヤホンマイク（カナル型グレー）	EME-6	ストレートコードイヤホン（オープンエア型）
EME-21AB	イヤホンマイク（カナル型ブラック）	EME-26	カーコードイヤホン（オープンエア型）
EME-29A	イヤホンマイク（耳かけ型）	EME-50	ストレートコードイヤホン（耳かけ型）
EME-39A	吸塵イヤホンマイク	EMS-59	スピーカーマイク

定格

送受信周波数	Lチャンネル	421.8125～421.9125MHz(受信)
		422.2000～422.3000MHz
		440.2625～440.3625MHz(送信)
	bチャンネル	421.5750～421.7875MHz(受信)
		422.0500～422.1750MHz
		440.0250～440.2375MHz(送信)
電波形式	F3E（FM）	
送信出力	10mW、1mW	
受信感度	－14dBu（12dB SINAD）	
音声出力	50mW以上（8Ω負荷）	
通信方式	単信、半複信	
定格電圧	DC1.5V(単三形乾電池1本) / DC1.2V(EBP-179使用時)	
消費電流	送信時：約150mA（High）	約130mA（Low）
	バッテリーセーブ時：約30mA	
	受信定格出力時	：約200mA
動作温度範囲	－10℃～+50℃（充電：0℃～+40℃）	
寸法 W×H×D	52.8×73.8×14.6mm（突起物除く）	
質量	本体（単三形乾電池を含む）	：約62g
	本体（単三形乾電池、ベルトクリップを含む）	：約72g
使用時間の目安	約26時間(単三形乾電池使用時)	
	約23時間(EBP-179使用時)	

- 仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
- 本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- 乱丁、落丁はお取替えいたします。